

平成青木時報

2014年(平成26年)10月1日 第12号 発行:平成青木時報編集部 題字:三四六

2回目の神楽殿サウンドフェス、堂々開催!

2014年9月21日(日)に沓掛の宮淵神社楽殿にて、「神楽殿サウンドフェス2014夏」の回り舞台の鼓動〜が行われた。このイベントのみのところは、村指定文化財の神楽殿の回り舞台を使った、迫力あるパフォーマンスである。江戸時代に建てられた神楽殿の舞台がゴロゴロと音をたてて回る姿は何とも勇敢であった。



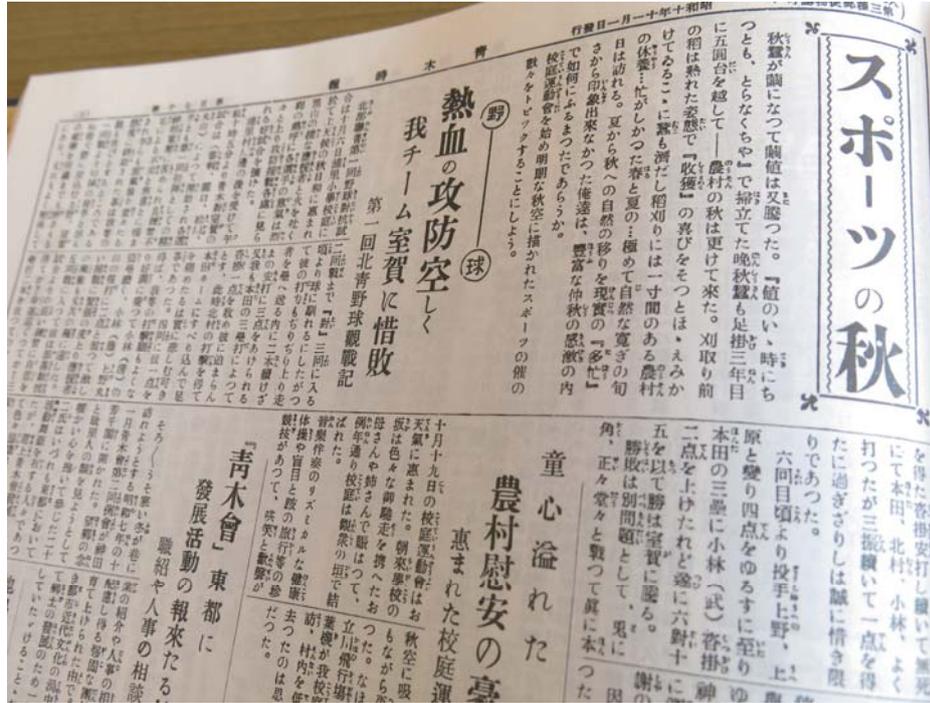
その舞台の上で素晴らしいパフォーマンスを披露してくれたのは、青木小学校金管バンド、青木義民太鼓保存会、下奈良本神楽保存会に加え、シンガーソングライター清水まなぶさん、上田市の3ピースユニットPage 01(ページワン)、民族楽器を奏でるオギタカさん、シンガーソングライターささきりょうたさん、アフリカン太鼓演奏グループサブニユマ。遠方からも多くのパフォーマンスが集結してくれた。

神社の澄んだ空気、清流のせせらぎのなかで、出演者の奏でるサウンドを、太い梁でできた神楽殿が響かせる。会場は心地よい空間に包まれ、集まった観客を魅了した。

人々の想い、願いが詰まったこの神楽殿を、未来へ受け継いでいきたいと心より誓った。

今回も多くの方の協力で開催することができた。心より感謝したい。

青木時報を学ぶ
昭和 10 年 11 月 17 0 号より抜粋



戦争関連の記事が多い中、スポーツの秋の特集記事。農業の忙しさからの解放や、収穫の喜びからスポーツのトピックが続いている。浦里小学校校庭で、上田市の室賀地区との野球の試合の結果や、校庭運動会にごちそうを持って多くの観衆が集い楽しんだということなどが、細かく書かれている。

青木フィーリング…きのこっ子まつり取材

9月9日青木村文化会館にて、きのこっ子祭りが行なわれた。これは保育園入園前の子どもを対象にリトミックの先生を招きリズム体操や工作等を通して、楽しみながら子どもの育成を目的としている「きのこっ子」が開催。この日は約 30 名が参加。長野市から、清泉女学院短期大学の学生もお手伝いに来ていた。毎年、来てくれているようだ。

まずはみんなで元気にお神輿をかついだ。その後、講堂で縁日に参加。輪投げ、魚釣り、もぐらたたき、工作、ヨーヨー釣りなど、手作りのゲームがたくさん並び、みんな笑顔で楽しんでいた。その後はみんなで盆踊り。大変盛り上がりお祭りだった。普段は毎月おおよそ第 2 と第 4 火曜日に活動をしているとのこと。詳しくは会長の増田久美子さんに。取材のご協力、ありがとうございました。



青木村限定生産「タチアカネ」

青木村でのみ栽培されている蕎麦の新品種タチアカネ。白い花に茜色の実が特徴。寒暖の差が良質なそばを育むという。香りが強く、石臼でゆっくりひくことで、熱を持ちにくいので風味が逃げない、粘りが強くコシが強いという特徴があるとのこと。

花と実が見頃を迎えた9月14日～23日「蕎麦の花・実まつり」が開催された。14日のオープニングイベントには、会場のリフレッシュパークあおきに多くの方が集った。そして、フォトコンテストの開催と、11月にはタチアカネそば店めぐりスタンプラリーも開催される。村の特産品として期待され、今後も注目していきたい。



～タチアカネ使用のそば店を巡ってみました！～

そば処ますだ屋



住 所：青木村田沢 3321

電話番号：0268 - 49 - 2477

営業時間：11時～14時、夜は予約のみ。

定休日：毎週火曜日、第3水曜

開店14年目。食材全て村内産にこだわる、おふくろの味。そばつゆは秘伝のダシを使った薄口。温泉帰りのお客さんも多いとのこと。お客さんに喜んでもらえることが嬉しいと話していただいた。

夢楽家（むらほうす）



住 所：青木村夫神 541-1

電話番号：0268 - 49 - 0001

営業時間：11時～。夜の営業は予約のみ。

定休日：不定休

開店12年目。敷地内地下70mより組み上げた天然水を使用した、9割そばと10割そばが選べる。そばがきの天ぷら、サラダ、コーヒーがつくセットも魅力的。そば本来の味を味わってほしいとのこと。また地元のものを使った、手作りピザも人気。

味処こまゆみ



住 所：青木村村松 29-2（道の駅あおき内）

電話番号：0268 - 49 - 0330

営業時間：11時～14時30分

定休日：年中無休（年末年始検討中）

ベテランそば職人高橋さんの粉回しからこだわる本格手打ちそば。タチアカネ特融の粘りとコシを活かした仕上げ。手打ちそばが一番人気。定食、カレーなども人気がある。

義民そば



住 所：青木村夫神 271

電話番号：0268 - 49 - 2145

営業時間：11時～14時 17時～19時

定休日：月曜日

開店17年目。すぐ近くの夫神の作業所での石臼でひかれたそば粉を使用。帰るときに美味しかったと言ってもらえることが何より嬉しい。と話していただいた。

熱烈コラム

なから

「白黒猫」

今回のキーワード…かかし×おまじない

太陽の絵の具で木の葉が赤、黄、オレンジと色を染める季節。ある村の夕暮れ時黄金色に輝く田んぼの土手に麦わら帽子をかぶった(不思議な)かかしが 1 人立っていました。すると、そこに一匹の白黒ネコが涙をポロポロ流しながら歩いてきて、かかしは心配してネコに「どうしたの。なに悲しんでいるの」と優しく声をかけると、「うわあ、かかしがしゃべった」とびっくり。かかしは「かかしだって人間と同じようにしゃべったりするよ。人間は僕らを作り、作り手の気持ちが自然と心や声に変わり宿る。けど、しゃべることが出来ることは人間がないときだけさ。そういえば君、悲しい顔をしていたけど、この僕に話してみない。悲しいこと、辛いこと、苦しいことはためこむとつらく苦しくなる。だけど、誰かに話をすると楽になり元気になるから。」とかかしはニコっとほほえんでネコに言うと、ネコは小声で「僕、自分が嫌い、僕の持っている不思議なチカラのせいで、友達を傷つけてしまったから、自分がこわい」とポツリとつぶやくとかかしは「君はどんなチカラを持っているの」と頭をかしげてネコに聞くと、ネコは「僕の名前はゴマ。僕いろいろ見て感じるチカラと想像するチカラを持ってるんだ。たとえば空を見て雲の形でくじら雲とお魚さん雲が遊んでいると想像したり、他のネコが傷を負っていたら、そのネコの痛みを感じてすぐ手当をする。ワクワクすること、痛みや喜び、楽しいことをわかちあうことはいいことだけど、このチカラのせいで、友達のミケネコのあんずちゃんを傷付けてしまった。僕のチカラは時々、あばれることがあるんだ。それであんずちゃんは僕みたいな変わり者はいないほうがいいと思って、そのことをあんずちゃんに伝えたら、あんずちゃんはどうしてそんなことを言うの。あなたは大切な友達で輝いているのに、自分を傷つけるの。と泣いてしまったんだ。それから僕のチカラを誰かが傷つけてしまうんじゃないかと考えてしまう。あれからあんずちゃんに伝えたいことがあるのに伝えられていない。このチカラをかくしている。」と泣きながら、かかしに伝えた。那月(つづく)

神楽殿サウンドフェス 2014 夏～回り舞台の鼓動～ 協賛の御礼

1面で紹介した9月 21日の神楽殿サウンドフェスに、私たちの活動のためのカンパ箱を置いたところ、5,173 円のカンパをいただきました。また、信州上田屋様、そば処ますだ屋様、洋菓子マリアン様、本酒店様、堀内農園様にも協賛とご協力いただきました。ありがとうございました。

株式会社 岩下建築太郎工房

新築からリフォームまで建築工事一式お受けいたします。

青木村殿戸 582

TEL0268-75-7012 FAX0268-75-7916

編集部員の

平成青木時報に携わるきっかけ

私は去年の6月頃からこの平成青木時報に携わっているが、何故こうして参加させていただいているかについて振り返ってみようと思う。

きっかけは、2011年3月11日の東日本大震災である。私は学生時代に福島県で4年間過ごした経験があり、震災で被害を負った友人も多くいる。長野県でも栄村で大きな被害が出た。この震災は私にとって他人事でない大きな出来事として非常に強い衝撃を与えた。震災当時、何かしなければ！という強い使命感にかられたのを覚えている。しかし、現実には遠路震災ボランティアなどに参加するような暇も伝手もなく、何とか普段通りの会社勤めをすることで、復興に向けて進んでいくための力になればと思っていた。

そんなとき、山浦編集長に相談してみた結果、県内ではあるが、青木村での神奈川の子供たちとのキャンプにボランティアとして参加させていただいた。ボランティア活動に参加すること自体初めてだったので、自分から率先してやるのがなかなか難しかった。

しかし、参加してみて思った以上に充実感があり、自分の中でモヤモヤしていた、何かしなければ！という使命感がいくらか達成されたように思う。その後、編集長のお誘いを受け、この平成青木時報の発足当初から携わることができた。まだまだ取材や記事の添削などうまくいかない部分もあるが、今いるメンバーで試行錯誤してやっている。これからも青木村を盛り上げるため、自分のボランティア精神を生かすため、精一杯参加させていただけたらと思っている。(U)

オススメ☆マイブーム

音楽：吉田山田「日々」

おじいさんとおばあさんの何気ない日常の歌。優しい歌詞に涙が止まりません。

本：田中光「サラリーマン山崎シゲル」

1コママンガなので読みやすく最高です。

テレビ：教育テレビ「0655」

寝起きの時間にぴったりのゆるい番組。たまに豪華？なゲストが登場します。

みなさんのマイブームはなんですか？

面白いものがあったら編集部まで、どんどん情報をお寄せくださいね。

(甲斐)

10月末までブドウ販売中

巨峰 ゴルビー 大王露 シャンスミン ネオマスカット 他
季節のブドウ詰め合わせいたします

ブドウ・リンゴ・米・各種加工品 セット販売など承ります

お気軽にお問い合わせ下さい

くっかけ果樹園

〒386-1602 長野県小県郡青木村大字村松1822番地

Tel/Fax (0268) 49-2808

E-Mail kutsukaju-en@chokubai-aoki.skr.jp

信州合体ナガノイザー 4 コマまんが

原作&メカ・背景
カムイコウジ氏
キャラクター
神北みゆき氏
ハロウィン



アオキノコちゃん、ゆるキャラグランプリ 2014 エントリー中! 今年もエントリー、前回順位越えられるか

青木村のマスコットキャラクター、我々がアオキノコちゃんが今年もゆるキャラグランプリにエントリーした。今年は過去最多の 1,670 キャラがエントリー。昨年は 1,580 キャラ中 868 位だったアオキノコちゃん。まずは、この順位を超えることが目標か。

投票期間は 10 月 20 日 (日) まで。メールアドレスの登録で、誰でも 1 日 1 票投票できる。9 月 22 日現在、1,175 位。厳しい戦いが続く今こそ、村民の応援が必要。9 月 17 日には、県の観光 PR キャラクター「アルクマ君」が、ゆるキャラグランプリの PR に青木村役場に訪れ、一緒に頑張ろうと手を握った。平成青木時報もアオキノコちゃんを応援しています!

- これまでのゆるキャラグランプリ**
- 2011 年 1 位 くまモン (熊本県)
2011 年 11 月アオキノコちゃん誕生
 - 2012 年 1 位 いまぱりバリィさん (愛媛県)
アオキノコちゃん 490 位/865 キャラ
 - 2013 年 1 位 さのまる (栃木県)
アオキノコちゃん 868 位/1580 キャラ



文化祭、産業祭に出展

平成青木時報編集部、11 月の文化祭と産業祭にも参加を計画しています。お手伝いいただける方も募集しています。



昨年のブースの様子

平成青木時報は、大正時代から昭和に村の青年会が発刊していた青木時報の名前を借り、村の魅力や情報を発信するため、青年グループ「泥百笑 (どろひやくしょう)」が、平成 26 年度長野県地域発元気づくり支援金を活用し制作しています。

前号の記事に「沓掛温泉の野生里芋 (石芋) 群生地でホテル観賞会を開き、多くの子が参加した」とありましたが、正しくは「田沢温泉」で行ないました。訂正してお詫びいたします。

青木を盛り上げたい! 何か面白いことしてみたい! という方お気軽にご連絡ください。次回は 12 月 1 日の発刊となります。また、ご意見ご感想や投稿などもお待ちしております。

ご意見・ご感想お待ちしております。 平成青木時報編集部 代表 山浦和徳
 電話 : 090-2308-8270 メール : aokijiho@gmail.com
 ホームページ : <http://doro100sho.jimdo.com/>
 Facebook : <https://www.facebook.com/aokijiho> Twitter : @aokijiho

編集部からのお知らせ